



2022年4月1日発行  
 公益財団法人とちぎYMCA  
 〒320-0411  
 宇都宮市松原2-7-42  
 Tel 028-624-2546  
 Fax 028-624-2489  
 www.tochigiyymca.org  
 発行人 / 塩澤 達俊  
 編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA

# YMCA News 4

## 『新しい季節、それぞれのスタート！ 2022年新年度ははじまり、はじまり！』

とちぎYMCA 総主事  
塩澤 達俊

表紙の写真から：定例野外教育プログラム「とちぎY野外クラブ」にて。

柄にもなく神さまのお話をさくらんぼ幼稚園やようとう保育園のお子さんがたにすると、なにを、どのようにお話しすればいいかなーと、いつも頭をひねります。

YMCA のさくらんぼ幼稚園ではじめて子ども礼拝でお話をしたときの話は、「お饅頭は日が経つと古くなってカビたりして食べられなくなるけど、みんなは毎日、毎日新しくなってゆくんだよー」「これをヘンシンとかセイチョウとかシンカとかいうんだねー、みんなはその塊りなのです！」と、コリント人②への手紙第4章16-18節を念頭にお話ししました。

実はこの話し、子どもたちにむけてというより「確実に日々歳を重ねて古びたり・退化したり・劣化して行きかねないわたし自身や、わたしたち大人たちが作っている社会や価値観やシステムあれこれ」にむけての自問だったのだなーと話すそばから気が付きました。

誰でも、幾つになっても、どんな過去や歴史をもっている、作ったシステムや決まり事が古くても、人や社会や世界は、いつからでも、リ・イマジネーション（再創造・再想像）とリ・メイク、リ・モデルとリ・

スタートで生まれ変われるし、新しくなれるのです！

戦争や病気や、いろいろな困りごとが、カビたお饅頭のようにわたしたちをガッカリさせるかもしれません。でも、「私たちの外なる人は衰えても、内なるひとは日々新たにされています」という神さまからの祝福を信じて、大人も子どもも美味しい「内なるお饅頭」をつぎつぎに作ってはパクリ、パクリと食べて2022年度も元気にゆきましょう！  
みんなのスタートのはじまり、はじまり！

とちぎYMCA総主事  
塩澤 達俊



とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

### 2022年度とちぎYMCA年間聖句

何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

(ピリピ人への手紙 4章6節)





## 認定こども園 さくらんぼ幼稚園 「卒園式」

3月15日2021年度、卒園式が行われました。99名の卒園生がさくらんぼ幼稚園を巣立っていきました。共に過ごした年月の中で数え切れない思い出を作ることができました。



今年も制限がたくさんあった中で幼稚園生活でしたが、いつも前向きに《今》を楽しむ姿に私たちは励まされた毎日でした。困難な時も下を向かず前を向いて歩いていこうと子ども達の笑顔から学びました。

♪ぼくの歩く道と、きみの歩く道は、つながっているから、おなじ道だから♪卒園式で歌った「きみとぼくのラララ」の歌詞です。それぞれの小学校に進学

する99名の卒園生。でもきっとどこにいてもどんなときも、私たちはつながっています。輝かしい未来に向かって進んで行ってください。これからもずっと応援しています。

4月1日からは2022年度が始まります。新しい出会いを心待ちにしています。

本澤 利香



## 子どもの家だより ～西が岡小子どもの家(どろんこ広場)～ 「2022 新年度スタート！」

2022年4月1日より新1年生24名をお迎えします。1年生から6年生まで95名の子どもたちでどろんこ広場がスタートします。子どもの家が指定管理制度に移行して1年が過ぎました。新体制に不安も沢山ありましたが、YMCAの担当スタッフと運営の方法、季節の行事等も話し合い、相談しながら運営していきました。コロナ禍において、活動が制限される中、2022年度もお花見、お誕生日会、夏祭り、水あそび、ハロウィーン、クリスマス会を予定しています。なるべく沢山の行事を子どもたちと共に実施出来ることを願うばかりです。



YMCAの「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンに子どもたちは外でサッカー、ドッジボール、鬼ごっこ、縄跳び、ヒーローごっこなどを行っています。室内ではレゴ、人形ごっこなどを行っています。子どもたちの遊びは無限大です。子どもたちと遊びを通じて成長を見守り、ちょっとした顔の表情の変化

などを見逃さないよう、見守り、寄り添い、友だちとの遊びが楽しく安全に過ごせるよう支援していきたいと思えます。

主任支援員 麻生 久子

## ようとう保育園 「もうすぐ1年が経とうとしています。」



4月からようとう保育園に就職しもうすぐ1年が経とうとしています。

この一年を振り返ると、不安な気持ちや緊張もありましたが、一日一日が充実しており、あっという間に過ぎたように感じます。

初めは、「どうやって信頼関係を築けば良いのだろうか」「こんな時々の様に声をかけたら子どもたちに伝わるのだろうか」など分からないことが多く戸惑うこと

もありましたが、先輩方に質問し教えていただいたり、実際に姿を見て学んだり、一つ一つ解決し、保育に活かすことができました。一歳児の担任を受け持ち、子どもの成長には驚くことばかりでした。数日前はできなかったことも数日経つとできていることが多く、改めて子どもの成長のはやさに圧倒されました。できた時、「できた！」と笑顔で喜んでいる子どもの姿は、私まで嬉しい気持ちになりました。

コロナ禍でマスク生活が続いている状況の中、これからも健康面に気をつけよう一層コミュニケーションをとりつつ、私も子どもたちと共に成長していきたいです。子どもたちの笑顔がたくさん見られるよう、たくさんあそび、子どもの気持ちに寄り添いながら信頼関係を徐々に築いていけたら良いなと思っています。

これからも、園長先生をはじめ先輩の皆様方のご指導をいただきながら頑張ります。

荒関 沙弥



## 宇都宮市青少年活動センター トライ東

### 「新年度のご挨拶」

新型コロナウイルスとの共存を余儀なくされ、丸2年が経過しようとしています。変異株が次々と出現しては、私たちの生活に変化をもたらす日々。ソーシャルディスタンスやマスク着用が当たり前となりました。マスクを外した顔では、相手を認識出来ないときさえあります。

そんなコロナ禍であっても、トライ東では『つながりを絶やさない』ことを目指しています。まずは、どんなときも皆さんの居場所となるように。小中学生対象に自主学習をサポートする「スタディールーム」を週に1回実施し、先生や親とは違う存在である高校生・大学生ボランティアが一人一人に向き合い、寄り添うサポートにより信頼関係を築き、「一緒に学ぶ場」「受け止めてくれる人がいる場」を目指しています。また4月以降、年8回の開催を目指し、高校生ボランティアグループ「つぼみ」が企画・実施する「つぼみ食堂(親子向け食事提供事業)」も計画しています。感染症対策をした上でさらにコミュニティを広げる為にはどうしたら良いかリーダー会を通して模索中です。



青少年のみなさんには、今まで通り、気の合う仲間との交流の場として。更には、世代を超えた仲間との交流も出来たらと構想しています。新しく知り合ったと思って話していたら、実は友だちの友だちだった!なんてこと、あるかもしれません。

そうやってコミュニティの輪が広がっていくことが、トライ東の願いです。

所長 菅井 宏益

千葉YMCA・とちぎYMCA・ぐんまYMCA バーチャリティーラン (インターナショナル・チャリティーラン)

## ご支援の御礼

この度、2回目となります千葉YMCA・とちぎYMCA・ぐんまYMCAの共同開催によりますバーチャリティーラン(インターナショナル・チャリティーラン)に多大なるお力添えをいただきまして、誠にありがとうございました。

おかげさまでもちまして、3月6日にバーチャル形式での表彰式と閉会式を、ZOOMとYouTubeにより無事執り行うことができました。

今回のバーチャル開催のチャリティーランでは、歩数計アプリ「Renobody」を利用して『チームレース(チーム参加)』、『らくらくウォーク(個人参加)』、そして『誰でもウォーキングチャレンジ』に363名の方々にご参加をいただきました。

YMCAチャリティーランの趣旨にご賛同をいただき、大きなお力添えをいただきました皆さま方に心より御礼と感謝を申し上げます。

お預かりいたしましたご寄付は、特に障がいを持ちながらも人生にチャレンジをする子どもたちの笑顔のために、各YMCAの進めるポジティブネット(誰ひとり取り残さない社会をつくる活動)を通して活動に役立たせていただきます。

YMCAはすべての方々の笑顔のために精一杯努力する所存でございます。

すので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

YMCAインターナショナル・チャリティーラン  
千葉YMCA・とちぎYMCA・ぐんまYMCAバーチャリティーラン  
実行委員長 榎 一光(千葉)岡田 孝司(とちぎ)阿部 幹夫(ぐんま)

担当: 菅井・坂本





いじめを自分ごとにし、いじめのない社会を目指す

## ピンクシャツデーを地域の皆さまと!

いじめを自分ごとにし、いじめのない社会を目指す、ピンクシャツデーの取り組みを行いました!子どもたち一人ひとりが、いじめについて考え発表してみたり、いじめについての思いを絵やメッセージにしてみたり、ピンクのものを身に着けてみたり……。またリーダーたちは講師をお招きしていじめや差別について考えてみたり。様々な方法でいじめや差別について考える機会となりました。

子どもたちの中には過去にさくらんぼ幼稚園で聞いたピンクシャツデーの話が小学生になった今でも覚えていて、「俺知ってるよ!ピンクシャツデーってね...!」と周りにいる友だちに伝えてくれている子もいました。卒園してからも YMCA の運動が子どもたちの心に残り、子どもたちが地域へと還元してくれる。こんなに嬉しいことはないです。協力してくれた子どもたちをはじめ、ご家族の方、会員の皆様に感謝いたします。

新型コロナウイルスの影響は、わたしたちの生活に不安をもたらし、心ない偏見や差別を生み出しています。

ピンクシャツデーをきっかけに、今後も YMCA では一人ひとりが違っていい、そして一人ひとりが尊重され、支え合える社会を目指していきたいと考えています。



貧困をなくそう。すべての人に健康と福祉を。

## つぼみ食堂、プレオープン!!

3月13日(日)宇都宮市青少年活動センター(トライ東)にて、つぼみ食堂を開催しました。本来ならカレーとコンソメスープをつぼみの皆で調理をして提供する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を勘案して出来合いのお弁当、パン、おやつを提供に変更いたしました。2時間と短い時間での開催となりましたが82人の方に足を運んでいただき、温かい言葉をいただいたり、子どもたちの笑顔がたくさん見ることができました。

近年、子どもを取り巻く様々な環境の変化に伴い、食生活の乱れや子どもの孤食が増えています。また、子どもの7人に1人は「子どもの貧困」状態にあると言われていています。つぼみでは、SDGs(持続可能な開発目標)に関心をもち、

1. 貧困をなくそう 3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを 12. つくる責任つかう責任に絡めた活動を展開しています。今年度は定期的につぼみ食堂を開催し、地域協働を心掛け関係人口を増やし地域の方や子どもたちが集いアットホームな空間を目指していきたいと思ひます。

次回は **6月11日(土) 16:00~19:00** にトライ東で開催予定です。引き続き、応援の程よろしくお願ひいたします。



第52回全国YMCAリーダー研修会報告 Negative capability × X = Positive Well-being

## リーダーたちの「答えなき問いを生きる。」④

第52回全国YMCAリーダー研修会を通して答えなき問いをたくさん手に入れたリーダーたち。ここでは過去を振り返り、今を見つめ、未来を想像しているユースたちの声を全国YMCAリーダー研修会参加報告と共に掲載していきます。いよいよ最終稿です!

全国リーダー研修会では、様々な学びと達成感を得ることが出来ました。

若松英輔氏から「苦悩」は自分を知ること、自分を高めることにつながるということ、仲井間健太氏から困難から自分の弱さに気づき、助け合ってくれる「伴走者の存在」が不可欠であるということ、濱野将行氏から自分に足りないものを埋めてくれる他者に助けを求められる「余白力」が大切であるということ、中村絵乃氏から他者の立場に立つことが必要であるということ等を学ばせて頂きました。

グループワークでは、テーマに対する答えに行き着きそうになると、新たな疑問や視点が生まれ、なかなか「これだ!」という答えを見出すことが難しかったです。しかし、この深く広く探求(探究)する時間は、新鮮でワクワクするものでした。自分にない考えや気づきに出会ったり、他者の立場になって考えるということを経験しました。

自分の中に何かが増えていく、膨らんでいく感覚が嬉しくもあり、幸せなものであると実感する貴重な時間でした。ここで得たものをこれから活かしていきたいと思ひます。

玉川大学4年 牧野 友香(ムーミン)



『近づこうとすること』

今回の研修で私達は、約1ヶ月にわたり『みんなが助け合うためには、困難な状況に耐える力と何(X)が必要なのか』を話し合ってきた。沢山のXの中で特に実感したXが『近づこうとすること』だ。

研修が始まった当初、初対面のリーダーたちがどんな人かわからず『不安だ』と感じていた。しかし、自己紹介や雑談の中で相手を知ることで不安は消えた。また、『何のスポーツやってた?』など相手が自分を知らうとしてくれていることも嬉しく感じた。お互いが近づこうとすることで絆が生まれ連隊が生まれたと感じる。

このことは気候変動や世界的な問題なども例外ではない。難しいからと放棄せず調べてみることで自分の意識が変わるだろう。少しでも近づこうとすることで状況は変化すると考える。

これは、今回の研修がオンライン開催で直接会えないからこそ、少ない情報の中でお互いに『近づこう』としてたどり着いたXだと思う。今後もネガティブな状況こそ、恐れず近づこうとしていきたい。

新社会人 岩月 彩華(ちゅん)

「Negative capability × X = Positive well-being」。初めにこのテーマを聞いた時、正直私には難しすぎる内容だと思ひました。ですが、勇気を振り絞って参加をしてみても本当に良かったと心から思ひます。テーマは確かに難しいものでした。1ヶ月の話し合いをしてもハッキリとした答えも見つかったとは言ひ難いです。ですが、グループのみんなでも悩み抜いたことこそ Negative capability そのものであり、とても貴重な宝であると感じています。私たち8Gが出したXは「種まき」。共に悩み抜いた仲間がどこかでなにかアクションを起こし、悩んだこと・学んだこと・考えたことを色んなところに種まきをした時に Positive well-being が生まれると思ひます。これからは様々なことをインプット・アウトプットしてそれぞれの幸せの形が実現される世界に繋がれば素敵だと思ひます。

国際医療福祉大学4年 高橋 亜由音(あゆ〜ん)





2月11日のとちぎYMCA大会 ZOOM に国際ブースを出してみました!

# 「チョコ・プラ」について参加者のかたたちと考えました。

Q1 「チョコ・プラ」って何だろう??

- A: 海洋のプラごみ問題を統計から確認したら、...
- 世界中の海にプラごみがまき散らされ、海の生き物は、ひいては地球上の生き物すべてがプラ漬けに!!
- B: これは大変!
- C: 私の家では、バレンタインチョコをあけてみたら、たった2個のチョコを包むプラスチックのゴミがあふれ出した~
- D: これは大変!
- E: 増えるプラごみは大きな問題だ!
- F: じゃあ、どうやってお買い物したらいいのかな~? う~ん...

Q2: 参加者からチャットでアイデアを求めると、あふれ出した~なるほど、なるほど...

- \*マイバッグやマイボトルはみんなやってるね!
- \*お弁当を持参するけど、テイクアウトには、容器を持参し詰めてもらう!
- \*ラップは使わないようにしてる。
- \*シャンプーは容器を使わず、固形を使ってるよ。
- \*新聞が入ったプラは断った。
- \*無印良品のお店に給水機がある!
- G: プラごみ削減に協力的なお店のマップ、あったらいいね!
- ⇒ 「やってみよう!」ゼロプラ大作戦: プラスチックゴミは減らせるのか?

マイ容器持参でお買い物してみた!!

- ★清住通りの大浦精肉さん★  
プラごみなどエコの話に賛同! ひき肉を持参の容器に計り売 OK! コロケも持参容器と包装紙でプラ削減を考えて。大きなトレーを持参しての注文をした人もいたとのこと、あっぱれ!
- ★清住通りの大和屋味噌さん★  
麴のいい香り、選んだ味噌を持参の容器に計り売り! 店の奥の方で、味噌をつくっているとのこと。こんな町の中で手作りなんて!

もっと情報をかき集めて、YMCAのご近所さん地図を作ってみようよ!  
【募集!!】  
\*とちぎYMCAの近隣のお店で“エコなお店”の報告、お待ちしております。街の探検隊員になって!  
\*この活動にすてきな名前をつけて! 「ゼロプラ隊?」「チョコプラ隊?」...  
情報はここへ! メール: oura.tomoko@tochigi-ymca.org



## 月刊#(ハッシュタグ)



### 第12回 #なにそれなにそれ

とちぎYMCA総理事  
塩澤 達俊

#### #おまけつき#仮面ライダー snack#リーグ戦#唐茄子屋政談

おまけつき!魅力的な響きです。

「おまけ」といえば、キャラメルやコーンフレークの箱に入っていたおもちゃで蒐集癖に目覚め、仮面ライダー snackのラッキーカードに射幸心を煽られ小遣いをつき込みました。いまでもケース売の発泡酒におつまみなどが付いていたりすると嬉しくなります。

落語「唐茄子屋政談」、勘当されたにわか商人の若旦那に代わってカボチャを売りさばいてやろうとする世話焼きな通行人男の売り口上に「まけてやるからよー」があります。値を下げたり、目方を増やしたりしてやるから買ってやってよー、という意味です。

口上ででてる「まけ」とは「負け」のことで「おまけ(御負け)」の語源になっているのだそうです。



ところでこの「おまけ」にまつわる「負け」には潤滑的な働きがあり「(売り手の方で)負けてあげるから買ってー」と「(買い手の方で)買ってあげるから御負けしてー」が噛み合って上機嫌な商いを成立させています。さらにこの「負け」には「売れてよかった/お得に買ってよかった」、「おまけしてやったんだからまた買ってね/おまけしてくれたからまた買うね」といった双方良し的な後味の良さもあります。

それはこの「負け」が、1回限りの駆け引きや、この世の終わりや破綻などではなく、勝ったり・負けたりやの営みにつきもののモーメントだったり、次につなげるために必要なステップ、意味のある負け、すなわち「おまけ」になっているからではないでしょうか。

人生は100年続くロング・アンド・ワインディングロードです。そして新年度のはじまりです!一度負けたら終わってしまう「勝つか・負けるか」の短期的なトーナメント戦では身が持ちません。「勝ったり、負けたり」「おまけしたり、おまけしてもらったり」をくりかえしながら、最後までゲームの行方が分からない長期的なリーグ戦で、人生いろいろ、おまけつき!と行きたいものですね。

YMCA Stands for Peace!

## ウクライナ緊急支援募金 中間報告

皆様からの温かい支援募金へのご協力に感謝申し上げます。

**募金総額: 740,700円** (2022年3月18日現在)

とちぎYMCAで集められた募金は、日本YMCA同盟を經由して、世界YMCA同盟に送金され、ウクライナYMCAやウクライナ近隣諸国のYMCAが行う支援活動のために用いられます。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

とちぎYMCAのブログにウクライナ情報、募金方法などが掲載されています。また、現地ウクライナYMCAや世界のYMCAの支援情報(英文)などは“YMCA Ukraine”で検索できます。



とちぎYMCAの日常をご覧ください。  
instagramもはじめました!  
**tochigi\_ymca**

